



薬小っ子スタンダード  
当たり前のことを  
当たり前に行ける子に

# 薬師寺小だより

平成29年3月  
下野市立  
薬師寺小学校長  
鈴木 一恵



自分のことは  
自分でする

やさしく



テレビやゲームの  
時間を決める

かしこく



家族と一緒に  
正しい食習慣

たくましく

## 卒業式



ご卒業おめでとうございます。

3月17日卒業式が挙行されます。

保護者の皆様、地域の皆様に温かく見守られ立派に御成長された50名の卒業生が薬師寺小学校を巣立ちます。これまで本校の教育活動に対しまして御理解頂き、御支援御協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

### 巣立ちゆく卒業生に贈る言葉

(卒業文集に寄せて)

私が薬師寺小に赴任し初めて送り出す卒業生が皆さんです。4月1日担任を発表すると北城篤史先生と平井真希先生から卒業に向かっての熱い思いが私に語られました。

「卒業までにたくさんの思い出を残してあげたいのです。」

小学校最後の1年間、担任2人のこの思いが皆さんにしっかりと伝わったことでしょう。修学旅行や運動会、親子レクリエーションや薬小祭、そして国会や空港見学……。教室でも友達や先生とたくさんの思い出ができたことでしょう。

本校の最上級生として学校を支えてくれた50人のエネルギーなパワーとチームワークも最高でした。なかよし班活動をはじめとして様々な場面で下級生にたくさんの優しさと思い出を残してくれました。皆さんの立派な姿は、薬師寺小の伝統として下級生にしっかりと受け継がれることでしょう。

さて、皆さんの入学した平成23年には、日本では未曾有の大地震がありました。東日本大震災です。3月11日の事でしたから、皆さんは卒園式や入学式を前にして、ランドセルを手にし、期待に胸膨らませていた頃と思います。

この下野市でも大きな揺れを体験し、被害に遭ったり不慣れた生活を強いられたりしました。皆さんの脳裏にも様々な記憶が残っていることでしょう。御家族は余震の恐怖を抱きながら我が子を見守り、無事に入学できることを祈っていたことと思います。

あれから6年という歳月が流れました。被災地では、皆さんのような子供たちがたくさん犠牲になられたことを思うと、今、こうして無事に小学校の教育課程を修了し、「卒業おめでとう」の言葉を頂けることは、いくつもの奇跡が重なって、皆さんの命が守られたとも言えるのではないのでしょうか。

その奇跡の多くを起こして下さっていたのは、誕生から今日まで見守り育てて下さった親御さんや御家族です。大きな愛であなたたちを守ってあげたい、あなたたちが気付かなくてもいつでも隣を歩いていてあげたい……。そんな思いで一生懸命に育てて下さいました。これからも同じように寄り添い見守って下さるに違いありません。

なぜ、そうして下さると思いますか。それは、この世に授かった子供の大切な命、そのたったひとつの命が送る、たった一度の人生を自分らしく輝いて生きて欲しいからです。

これから希望に満ちた中学校生活がスタートし、自分の夢に向かって、一段一段階段を登っていく皆さんには、中学校でしか学べないこと、中学校生活でしかできない体験、中学校時代だからこそ得られる友が待っています。失敗を恐れることなく、様々なことに挑戦して、自分の「可能性」という引き出しを数多くもつことが、自分らしく輝いて生きる秘訣だと思います。

しかし、人の一生と言うものは誰でも嬉しいことや楽しいことばかりではありません。山あり、谷あり、上りもあれば下りもあります。時には、悲しいことや辛いこともあります。

そのような時の心の糧として手にして欲しい本があります。それは、山本有三作『路傍の石』です。逆境にある少年吾一が誠実に生きていく姿を描いた小説です。その一節を卒業に寄せて贈ります。中学校での御活躍をお祈り致します。

たったひとりしかない自分を  
たった一度しかない一生を  
ほんとうに生かさなかったら  
人間うまれてきたかいが  
ないじゃないか



『路傍の石』(山本有三 作)より

### 巣立ちゆく卒業生からの言葉

(6年生を送る会6年代表お礼の言葉より)

季節は冬から春に変わりましたが、まだ寒さが厳しい、そんな時期です。

在校生の皆さん、今日は素晴らしい6年生を送る会を開いて下さりありがとうございました。私たち6年生はこのような素晴らしい会に招待され感動が胸がいっぱいです。

薬師寺小の最高学年としての1年間は、これまででは学べなかったことがたくさん学べました。勉強はもちろんですが皆さんをまとめるという大切な役割があり、たくさんのことを経験できました。

私がこの1年間で培ったことは、「責任感」です。運動会や薬小祭などの行事を通して多くのことを感じる事ができました。

「自分の判断は間違っていないか」「自分のとっている行動は正しいのか」の2つのことを考えながら、みんなのために考えて行動することで、自分の心の中に責任感が生まれました。この2つの気持ちが自分を大きく成長させてくれました。

責任感を持つことによって、責任を果たすことの充実感を味わうことができました。薬師寺小のみんなは、笑顔が輝いています。ぜひ、その笑顔で地域の方々やご家族の方々を笑顔にさせて下さい。

在校生の皆さんもこれから、たくさん経験をするとします。よい経験を積むことで成長することができます。薬師寺小の古き伝統を守り、よき伝統をつなげていってください。



くつロッカー掃除の時も出したくつを揃えています。

廊下の汚れはみんなですって落とします。



卒業生の素晴らしいリーダーシップにより、くつ揃えや廊下磨きも本校の伝統として受け継がれました。



# 6年生を送る会

## 感謝と惜別の思いを

「6年生を送る会」が2部構成で行われました。1部は各学年別の遊び、第2部は全学年や先生方とのゲームやクイズ、出し物で楽しみました。最後に6年生から手作りキーホルダーのプレゼントがあり、下級生はとても嬉しそうでした。お世話になった6年生と最後の思い出作りができました。

### 【第1部】



2/14 1年とへびおに



2/17 2年とドッジボール



2/24 3年と鬼ごっこ



2/13 4年と4色ドッジボール

### 【第2部】



6年生にメッセージを



6年生の出し物



#### 職員バンド

本校職員のギター、ベース、ドラム、アコーディオン、キーボード、オカリナなどによる伴奏で、「世界に一つだけの花」を全校生が歌いました。心に残る歌声となりました。



#### なかよし給食

6年生との最後のなかよし給食となりました。異学年交流は、6年生にとっては大変なことも多かったと思いますが、配膳の準備からいつでも優しく下級生の面倒を見てくれました。名残は尽きません。



# 安全ボランティアの皆様 ありがとうございました

毎日、学校安全ボランティアの皆様にお世話になり、児童は無事に登下校することができました。6年生は6年間の感謝の気持ちでいっぱいですが、正に命の恩人です。



#### 1年

下校が遅れたときもずっと僕たちを待っていてくれました。道を渡るときも見守ってくれました。

#### 2年

信号で止まっていた青になると、「右、左、よく見てね」といってくれたので心がけています。

#### 3年

帰るときも来るときもボランティアさんがいると、今日も安全に学校に行けると思っています。学校に着くまで笑って見ていてくれてありがとうございます。

#### 4年

下校するとき信号が危ない所にくれてます。ボランティアさんに寒中を待たせないように頑張ります。暑い日も寒い日も送って下さってありがとうございます。

#### 5年

私達はボランティアさんがいるから事故なく安全に登下校し歩くことができます。雨の日も晴れの日も毎日、いっしょに歩いてくれてありがとうございます。明るい心のこもったあいさつをありがとうございます。

#### 6年

私達が下校しているとき、いつも元気に「おかえり！」などと話しかけて下さったことを覚えています。前半が渡り終わったらきちんと帰れているかなどを見て下さってとても感謝しています。危ない時間帯も安全でした。

#### 6年

僕たちがいつも安全に下校できたのは、絶対にボランティアさんのおかげです。6年間ずっと安全を確保して、僕たちの身を守ってくれました。これからもお体に気を付けて頑張ってください。

#### 6年

暑い日も寒い日も僕たちを見守って下さりありがとうございました。学校安全ボランティアさんには、信号機のない横断歩道などで旗を持って僕たちの班が安全に渡れるようにして頂きました。

### 職員にも感謝の花が・・・

#### ピンクのガーベラ：花言葉「感謝」



いつも季節の掲示物を作って届けて下さっていた学校ボランティアの方（6年生の保護者様）から教職員に心のこもったメッセージ入りの掲示物を頂きました。大変感激致しました。1階廊下に掲示させて頂きました。